

## 石川県母子福祉センターの平成25年度管理状況

施設所管課	健康福祉部少子化対策監室
指定管理者	公益財団法人石川県母子寡婦福祉連合会 会長 米田 浅子
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員全員に対し、月間予定表及び当日の利用予定の確認、丁寧な対応の徹底</li> </ul> <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施（延50通）</li> <li>・ご意見箱の設置</li> <li>・利用者ニーズの反映</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・寡婦に対する情報については、掲示板、パンフレット立てを利用して積極的に周知している。</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい講座（延べ635人）</li> <li>・おやこふれあいフェスティバル（1,147人）</li> <li>・母子寡婦福祉大会（380人）</li> </ul> <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新</li> <li>・広報誌「母子寡婦福祉いしかわ」の配付（6,000部）</li> </ul> <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区母子会等と連携によるイベント等の主催</li> </ul>
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用許可の件数（（2）②参照）</li> <li>・使用料の収入実績 なし</li> </ul>
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>警備、清掃、環境測定、冷暖房保守、電話設備保守、電気工作物保守、昇降機保守、防虫駆除、防災設備等保守、建築設備定期検査、防火対策物定期点検、冷温水器保守、重油タンク漏洩調査 以上、女性センター入居団体と共同で実施</p>
（その他知事が必要と認める業務）	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自衛消防隊の設置」「危機管理マニュアル」の策定</li> <li>・消防訓練の実施</li> </ul> <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護対策について、職員全員に徹底</li> <li>・職員用パソコンのパスワード管理</li> </ul>

(2) 施設の利用状況

①利用指標

指標	H24年度 (参考)	H25年度	前年度比	増減理由
センター利用者数 (人)	7,910人	7,808人	▲1.3%	館内における研修会での利用 人数の減

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
研修室1	40件	—	
研修室2・3	8件	—	
母子相談室	6件	—	
就業支援室	1件	—	

(3) 使用料の収入実績

なし

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	9,687	賃金	4,932
雑収入	1	需用費	580
		消耗品費	333
		修繕費	202
		印刷製本費	35
		被服費	10
		役務費	434
		使用料及び賃借料	808
		委託料	2,934
合計	9,688	合計	9,688
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（平成25年4月1日から平成26年3月31日実施  
有効回答数46件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	54.3%	45.7%	0%	0%
施設の維持管理	56.1%	43.9%	0%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望  
特になし

②事故、故障等  
特になし

③その他報告事項など

特になし
------

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・講習会等における保育サービスの提供や、図書コーナーを充実させるなど、利用環境の向上に努めている。 ・1階にパンフレットを置き、また5階の掲示板への掲示による母子家庭への情報発信に努めている
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。 ・女性センターに入居している他団体と共同で、効率的な管理が行われている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされており、緊急連絡網により連絡がとれるようになっている。 ・危機管理マニュアルの作成、消防訓練の実施など適切に安全対策が行われており、職員への指導も適切に行われている。
総合評価	B	・施設の設置目的に合った管理運営がなされており、今後も、女性センター入居団体と共同して更なる利用促進への取り組みを期待する。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている

- C (可) : 適正な管理運営がなされている
- D (不可) : 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし